



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

95.9.1 No. 4252

12月ダイヤ改正阻止斗争 - 8月31日支部代で確認 - 3ヵ月間決戦

決戦期に入る二ヶ月改闘争

八月三十一日、動力車会館において、支部代表者会議が行なわれ、勝浦運転区廃止攻撃粉碎、清算事業団闘争勝利！第二二期定期大会、一一・五労働者集会の成功を中心とした今秋闘争の取り組みを確認した。

われわれは、今次勝浦運転区廃止攻撃が、動労千葉の一大拠点勝浦支部を解体し、配転しようとする、動労千葉の組織に直接手をつけるという、極めて重大な組織破壊攻撃そのものであることをはっきりと見据え、この攻撃を断固粉碎しなければならぬ。

不当労働行為のオンパレード

勝浦運転区廃止攻撃の実態！

鴨川運転区新設―勝浦運転区廃止攻撃は、それ自体が明白な不当労働行為であると同時に、JR総連・革マルとJR当局の結託した異様な、「JR体制」の現実を誰の目にも明らかに示すものとなっている。

従って、ここを焦点化し、社会的に明らかにしていくことは、勝浦問題のみならず、現在の「JR体制」を打倒していく意味からいって、決定的な意味を持つている。

まさに勝浦運転区廃止攻撃とは、明白な不当労働行為のオンパレードではないか！組織破壊攻撃そのものではないか！それは、これまで、昨年一二

月から測量を始め、四月十日完全に箝口令を敷き、四月十日提案の「経営計画」でも一切明らかにならず、工事着工直前の、五月二十五日になって千葉支社は、鴨川運転区新設に向けた工事に着手することを提案。団交の中では、運転区新設の根拠にも一切答えず、労働条件に関わることにしても一切明らかにしないという対応に終始。その時点では「存在」さえしていないかつた、「鴨川運転区に転動する気はないか」とオルグをしていたJR総連の先行―鴨川運転区が出来たら転動することになっている」と公然と流される結託人事。われわれの勝浦運転区存続署名の進展に畏怖し、勝浦市議会で「勝浦運転区存続を求めめる決議に関する請願」審議直前に行なわれた、一部の勝浦市議員が買収工作。「通勤出来なければマンションを借り上げて社宅は確保する」というやり方。鴨川車掌支区ではJR総連分會長が、「車掌は全員JR総連の組合員にする」と公言。国労からの脱退者の「歓迎会」にJR総連幹部と千葉支社幹部が同席。「鴨川運転区は東労組で運営する」と公言。等々。

そして八月二十九日の鴨川運転区新設提案においても、要員のみの提案、またも一切の労働条件に関わることにについては明らかにしないという対応を続けている。

「JR体制」の異様な癒着構造

まさに十年にも及ぶ、「JR体制」の異様な癒着構造の生み出す判断基準とは、「動労千葉潰しのためには手段を選ばず」という、ただ一点だけなのだ。

しかしながらこの攻撃が、動労千葉・国労の組織破壊のみを目的としたものであることが鮮明になればなるほど、その矛盾は白日の下にさらされる。

この基地統廃合には、「営利会社」という立場からの業務上の必要性・整合性のケラが全くないことが―団交経過と現状からの不当な組合潰しの実態が―そしてローカル線切り捨て、職場と地域の切実な要求が抹殺されようとしていることが―

一点の曇りなき闘いの正義性！

われわれの闘いの正義性は、ここに一点の曇りなく鮮明となる。勝浦運転区存続署名での、勝浦市民の七割一三四九四名の獲得の中にこそ、「JR体制」を包囲し打倒していく闘いの前進を見いだすことが出来る。二ヶ月改闘争はいよいよ本格的な決戦段階の三ヵ月間に入る。われわれは組織破壊攻撃としか言いようのないダイヤ改に対して、組織の存亡をかけた闘いとして、あらゆる戦術を駆使した闘いを展開しようではないか！

あらゆる戦術を駆使して闘おう

当面、闘いの組み立ては、今次二ヶ月改の焦点となる、①鴨川運転区新設―勝浦運転区廃止問題であり、②、外房線の大幅なスピードアップだ。

団交交渉の今後の予定

九月五日、二ヶ月改本社交渉(申一二号)
九月八日、二ヶ月改労働条件提案(千葉支社)

われわれは団交交渉の中において、「JR体制」の不当な対応を徹底的に暴露し、JR総連・革マルと結託した不当労働行為問題を焦点化した取り組みを大きく展開しようではないか！

御宿町議選の必勝を勝ちとろう

さらに清算事業団闘争勝利の取り組みに拍車をかけ、「全国にはばたく」運動路線の成否をかけて、御宿町議選における、中村俊六郎君の、船橋・勝浦に続く勝利を勝ちとらなければならない！

第二回定期大会の決定的意義

十月一、二日に行なわれる第二二期定期大会において、圧倒的な二ヶ月改阻止闘争の方針を打ちたてようではないか！貨物合理化を断固粉碎しようではないか！さらに大会をはさんで、直営店舗の廃止に伴う、強制配転者の原職奪還の闘いを強化し、ダイヤ改阻止闘争と結合させた闘いとして、これに勝利しようではないか！

勝浦運転区廃止攻撃を断固許すな―いついかなる時にも、あらゆる戦術を行使しきれる万全たる闘争体制を構築しよう！